

USA All Star Challenge Competition 2017
USA Challenge Competition 2017 West

＜演技規定＞ Youth編成/Mix編成 Hip Hop部門

項 目	Youth編成	Mix編成
演技時間	1分30秒以上 2分00秒 以内	1分45秒以上 2分30秒 以内
衣 装	自由とするが、年齢に相応で全ての観客に対し適切な衣装とメイクを心がけること	
アクセサリ	衣装としてのアクセサリは認める（肌や床を傷つける危険があるものは不可）	
履 物	自由とする（靴下やタイツのみは禁止・床を傷つける危険があるものは不可）	
手具・大道具	装着するもの、手に持つ小道具は使用可（Pom、 大道具 は不可）演技中の着脱も可	
構 成	正確性・スタイル・独創性・ボディバランス・ボディコントロール・リズム・統一感・楽曲の演出を強調したストリートスタイルの動き（ジャンプなどのアスレチックな動作を加えることも可）	
セーフティ全般	① 安全性を考慮していない危険な行為、フロアを傷つける恐れのある行為は禁止 ② 手具・衣装・その他アクセサリ・装飾品は演技中に落下しないように配慮しなければならない ③ 怪我等の事情で、硬く曲がらない・表面に凹凸があるギプス・コルセットなどをする際は適切な素材でカバーすること ④ 手に全体重をあずける動作は、何も持っていない状態で実施しなければならない（例外：前転・後転） ⑤ 立位・逆さの体勢やターンから、膝・腿・座位・うつぶせ・仰向け・スプリットポジションの姿勢になる場合は、少なくとも片手または片足に先に体重が乗るようになること ⑥ ジャンプ・空中から演技フロアへ着地する場合は、少なくとも片足に先に体重が乗るようになること	
タンブリング	タンブリング（アクロバティック、体操的な技。フロア上から始まりフロア上で終わる個人で行えるもの）は、 実施できるが推奨されない ＜有効技＞に限り実施可（以下①～③を遵守しなければならない） ① 静止・歩行から実施可（走り込み・飛び込み・ホップなど勢をつけてからは不可 ※例外：ロンダート） ② タンブリングは単発・コンビネーションともに実施可 ③ タンブリングをしている選手の上や下を、タンブリングしながら通過・越えることは禁止 ＜有効技＞ 前転、後転、ショルダーロール、側転、チェストロールダウン、倒立、頭支持倒立、立ちブリッジ、前/後方転回、ロンダート、キップアップ、ストール ※有効技は片手での実施も可 ※手具を持った手に全体重をあずける動作は、セーフティ違反になるので注意（前転・後転は持ったまま実施可） ＜禁止技＞ 上記以外全て ※【補足】②参照	
スタンツ ダンスリフト	① スタンツの実施不可（人に完全に体重を乗せ、両足が床から離れる動作） ② ダンスリフトの実施不可（他者を持ち上げる・下ろす、または他者に持ち上げられる・下ろされる動作） ③ 人に体重を預ける・寄りかかるなどは実施可 人の上を通過する行為（背中を転がる・馬とびなど）は、補助されず自力で行う場合に限り実施可能	

【補 足】①有効技についての解説

【キップアップ】 仰向けから膝を曲げ、少し後ろに転んでから脚の反動で立ち上がる技（跳ね起き・ラバーハンドともいう）
 【ストール】 両手・片手で体を支えつつ、動きを停止するヒップホップ技（フリーズ）

②タンブリング禁止技・・・

有効技以外の全てのアクロバティック・体操的な技
 ＜例＞ 前方・後方倒立回転跳び、前方・後方宙返り、飛び込み前転、側方宙返り、ウィンドミル、ヘッドスピン、ヘッドスプリングなど